

## 第8回 まちの活性化・都市デザイン競技

### 1. 目的

まちの活性化を図るためには、地域の人々による活発なまちづくり活動が不可欠であり、併せて、うるおいのある良好な市街地を創出し、美しいまちなみと人にやさしく賑わいのある都市空間を整備することが基礎的な条件を整える意味で極めて大切である。このため、広く一般からまちづくりの構想とまちなみデザイン等について、様々な発想に基づく提案を求めることにより、今後のまちづくりと都市デザインに対する国民の関心を高めるとともに、活力ある美しい景観を備えたまちづくりの実現に寄与することを目的とする。

### 2. 主催・後援

- (1) 主催 : まちづくり月間実行委員会  
(財)都市づくりパブリックデザインセンター
- (2) 後援 : 国土交通省、神奈川県、鎌倉市

### 3. 事業実施経緯

- (1) 応募登録期間 : 平成17年 9月15日（木）～10月31日（月）
- (2) 作品提出期間 : 平成18年 2月14日（火）～ 2月28日（火）
- (3) 審査 : 平成18年 3月28日（火）
- (4) 表彰 : 平成18年 6月（まちづくり月間期間内）

### 4. 審査委員

- 委員長 : 西村 幸夫（東京大学教授）
- 委員 : 石川 幹子（慶應義塾大学教授）  
加藤 源（都市プランナー）  
岸井 隆幸（日本大学教授）  
北山 孝雄（総合プロデューサー）  
藤本 昌也（建築家・関東学院大学教授）  
森野 美徳（都市ジャーナリスト）  
竹内 直文（国土交通省都市・地域整備局市街地整備課長）  
高橋 賢一（法政大学教授）  
山田 秀一（神奈川県県土整備部長）  
石渡 徳一（鎌倉市長）
- （順不同）

### 5. 課題地等

神奈川県鎌倉市における「鎌倉駅西口周辺地区」約12 haを課題地区として設定。テーマは「古都鎌倉の玄関口にふさわしい質の高い空間と活力ある地域交流拠点の整備」とし、鎌倉駅西口地区の全体イメージ、市街地整備構想、まちなみのデザイン、並びにこれらを実現する方策などについて、考え方、デザイン、アイデアの提案を求める。

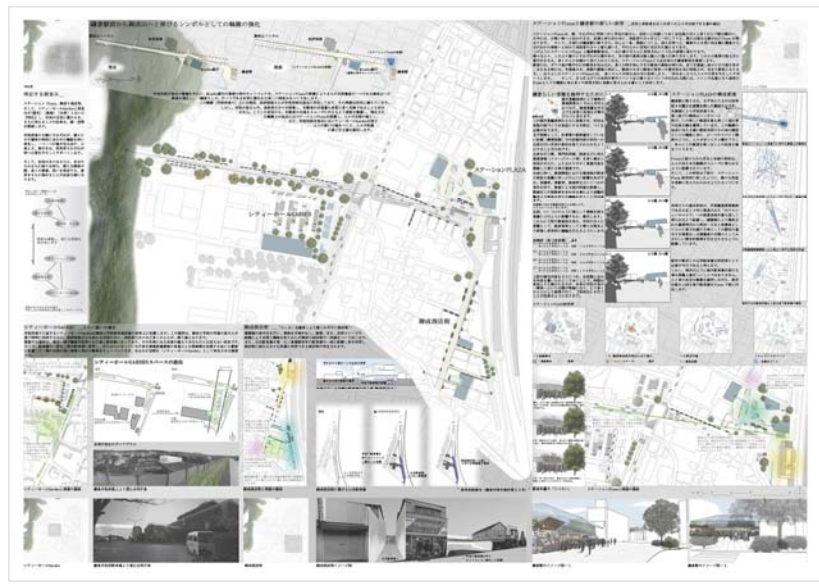
### 6. 審査結果

- 国土交通大臣賞（1点）  
川口哲太郎（REIACH AND HALL ARCHITECTS）
- まちづくり月間実行委員会会長賞（1点）  
松岡 聡 他1名（一級建築士事務所 松岡聡田村裕希）

○都市づくりパブリックデザインセンター会長賞（1点）  
 倉田直道 他5名（（株）アーバン・ハウス都市建築研究所）

○奨励賞（3点）  
 二井昭佳 他6名（東京大学社会基盤学専攻景観研究室）  
 村井亮介 他3名（高知工科大学大学院社会システム工学コース）  
 土田哲也 他6名（東京工業大学社会理工学研究科社会工学専攻）

## 国土交通大臣賞 作品



川口哲太郎 (REIACH AND HALL ARCHITECTS)  
 課題地区 神奈川県鎌倉市鎌倉駅西口周辺地区